



長 総 企 号

平成19年 4月27日

国土交通省道路局長 様

長万部町長 白 井 捷



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

平成19年 4月 2日付け国道企第114号で依頼のありました標記について、別紙のとおりに提出いたします。

総務課 担当 中 森

電話：01377-2-2450 内線220 FAX 01377-2-4884

E-mail: nakamori.satoshi@town.oshamambe.lg.jp

## 「今後の道路政策や道路の整備・管理について」

北海道長万部町

道路政策について、長万部町として次のとおり意見を提出する。

北海道を取り巻く情勢と道路施策についての現状認識は、「北海道のみちを考える懇談会」の示すとおり、特に、積雪寒冷地といった普遍的な地域特性、広域分散型社会について考慮する必要がある。

### 1 地域医療確保の課題について

本町は町立病院特を設置しているが、高次医療施設が存在する札幌、函館、室蘭までは、片道100km以上があり多大な時間を有している。加えて、冬期間の積雪、吹雪による路面状況悪化等の障害も現実的課題であることから道路整備は欠くことのできない社会基盤整備であり、安全・安心の確保からも必要性を認識している。

### 2 交通安全確保の課題について

自動車交通が急速に広がる中、年間を通した自然災害による交通障害への対応が不可欠である。特に、本町は、国道5号、37号、230号線が分岐していることから、交通量が多く、歩行者や自転車交通などへの配慮など、交通安全対策からも現国道の整備が必要である。また、起伏の激しい静狩峠についても整備が必要である。

### 3 道路構造物の維持補修について

本町には3本の国道が分岐していることから、橋梁も広範囲に点在しているが、橋梁の幅員が狭く、老朽化も進んでいることから、既存ストックの長寿命化からも適宜の補修や掛け替えも必要と考えている。

### 4 産業道路としての課題

本町はホタテ養殖を基幹産業としており、近年、EU向けの輸出も増加していることから、輸送環境の向上、国際競争力の強化からも計画的な道路整備を望むものである。